昭和58年
8月1日
第211号
発行所　津奈木町役場
編集　企画課
印刷所　水俣旭印刷所

町報 つなぎ

人口と世帯
（7月1日現在）

人口	6,251	(0)
男	2,978	(−3)
女	3,273	(+3)
世帯	1,178	(+5)

（　）内は前月との比較

8月15日 「戦没者を追悼し平和を祈念する日」
全国戦没者追悼式
――正午には黙とうを――

去る七月九日(土)、ブルーシー・アンド・グリーンランド財団の中北清嶋専務理事が、昭和五十六年八月十二日の、B&G体育館竣工式典以来、約二年ぶりに本町を訪ずれた。

当日は、諫山助役の案内で午後四時、海洋センター到着、六車町長をはじめ町執行部等が出迎えた。歓談の後、各施設の利用状況の査察を受けた。

この日、艇庫では、定期の海洋クラブ活動中で、クラブ員は中北専務の励ましを受けた。

体育館では、郡内の〝若人の祭典・第二十三回芦北郡総合青年祭〟の、男子バレーボール大会の真っ最中であったが、セット間を利用して、中北専務は「皆さんが常日頃、B&G施設を利用して、スポーツに親しみ汗を流してくださることは、私の非常に喜びであり、スポーツを通じて仲間づくり、体力づくりに尚一層のご活躍を期待します」と挨拶された。

会場にいた郡内青年団員の拍手を後に、B&Gプールの夜間の利用状況を査察され、担当職員から昼間の水泳教室や夜間の各地区割当、町の水泳大会やナイターで開催する事等の説明を受け満足そうだった。

夜は、改善センターで開催された「町民と自衛隊のつどい」に出席して、町民約七百名を前に挨拶の中で笹川会長の日本財団による平和外交の紹介と、生活の中で運動の大切さを具体的に述べた後、町民と自衛隊が敢い踊る姿を楽しく、一緒になって最後まで観覧。

こうして終日、津奈木町に、滞在された中北専務は翌平日、鹿児島空港から帰京された。

〝町民の施設活用に満足〟
B&G財団　中北専務来町

▲査察する中北専務(左より町長、専務、助役)

甘夏から離れて〝私はキウイフルーツを取り入れた〟
作業も楽に……

上下門　吉田会輔さん

吉田さんのキウイとの出会いは四年前の五十四年、たまたま新聞記事でキウイフルーツの事を知った。その頃〝B地区の甘夏は接ぎ変よう〟の呼び掛けに「いよいよこれで甘夏はダメだ」と見切りをつけ、〝キウイに〟と決めたというとだった。

早速、日本キウイフルーツ協会(東京)に問い合せて、福岡県久留米市のカワムラ産業(農業資材会社)が苗の取扱いをやっていることを知り、近所の久村一弥さんと苗買いに行ったのが栽培の始まりという。

植付け間隔を五m×六mとし、八本のメス木に対し、一本のオス木を植えた。また当初の話では、薬剤も肥料もいらないということだったので、一年目はそうしたが成績が良くなかったので、今は薬剤散布を二回と肥料も適当に施す。

そうだ。

水田転作のキウイ園はユンボで、一mの溝を掘り、竹などを埋めて排水を行なっている。

作業で最も手のかかるのは、玉伸びを良くするための人工授粉と夜ガ防止の袋掛けだ。授粉の方は花が一週間位かかって咲くので、その間、毎年前中行う。袋掛けは、一人で一日に千個位ということだった。

「この二つの作業が忙しいと言えば忙しいが、簡単で少しも苦にならない。今年は二万枚の袋を使い果たしたので数は察しが…」と話す吉田さんは夫婦二人だけで済ましている。

二年前にもキウイフルーツと最初に取り組まれた浜田勇さん(平国)を私(企画課)は取材したことがあった。今回の吉田さんの次の言葉は印象に残った。

「キウイは料理や化粧品にも使え用途は広い…山地の多い津奈木には適していると私は考えるが…いかがな…昔から農政には一貫性がないので…生産者自身が考えれば…来年は今年の何倍に成るやら…課題は販売のやり方だ。」

▲吉田会輔さんと水田転作4年目のキウイフルーツ園

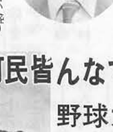
叙位叙勲
勲六等単光旭日章

元津奈木村議会副議長
故　福山義人氏

津奈木村議会として、昭和三十年から四十六年まで、四期十六年間にわたり、自治の振興発展に尽力された。又自治区長、教育委員とその他の要職をつとめ、消防行政並びに学校教育行政に貢献されました。福浦部落、故福山義人氏に勲六等単光旭日章が授与されました。

退職挨拶

前農業委員会事務局長
伊藤一吉



陽性型の梅雨が明け、暑い盛りの季節ですが、暦では八月八日が立秋です。十五日は終戦記念日を迎えます。皆様には益々御清祥の御事と存じます。　私は、七月末日付で停年となり退職致しました。顧みますと昭和三十一年一月に津奈木村事務局補書記を命ぜられ、以来三十七年七月の間皆様方には公私共に、温かい御指導と御援助を賜りました。それ故に、どうにかこうにか私に与えられた職務を遂行することが出来ました。皆様に改めて御厚情を深くお礼申しし、併せて何等報ゆることのなく、不満快な思いと、御迷惑をお掛け致して慚愧し、衷心からお詫びを申し上げる次第でございます。さて退職してみますと、役場に奉職した最初の八年間(結核予防、家族計画、赤ちゃん大会等の衛生担当)と、最近の保育園での四年間(幼児教育、町立保育園の信用回復等)、それに最後の一つ農業委員会出向期間の四年間(関係法律、法規等の熟知とその適否、運用等)が将来特に私の思い出となることでしょう。

これからは一町民として、自分に適した晩年後の人生に取り組む所存ですので、今後とも何卒宜敷御交誼下さいますよお願い致します。尚、末筆になりましたが、津奈木町の限りなく発展と、皆様の健康を祈念しつつ、退職の挨拶といたします。

町民皆んなで参加しよう

アーチェリー、長浜保司さん

野球大会(第37回)
13日・14日
競舟大会(第18回)
15日

八月の行事

一日　青少年育成町民会議
　　場所　海洋センター
二日　海洋スポーツ各種教室
　　場所　海洋センター
　　二日～十二日　十七日～二十七日
四日　町議会ソフトボール大会
　　場所　田浦グラウンド
七日　郡民体育祭
　　野球・ソフトボール
　　剣道・ゲートボール
　　場所　田浦・芦北
八日　九州選手権競舟大会
　　場所　湯ノ児海岸
十一日　交通安全　麦茶サービス
　　上下門(～十二日)
十三日　町民体育祭野球大会
　　総グラウンド(～十四日)
十五日　町民体育祭競舟大会
　　場所　大泊港
十七日　児童巡回相談
　　水俣市総合福祉会館
二十一日　郡民体育祭
　　水泳・卓球・柔道
二十二日　町長杯男女別ソフトボール大会
　　場所　総合グラウンド

夏期訓練実施される
―津奈木町消防団―

七月二十四日午前九時より運動公園において、消防団夏期訓練が行なわれました。午前中、水俣芦北消防組合消防本部の指導のもとで、規律訓練、通常点検の訓練を実施しました。午後から芦北郡ソフトボール大会の予選を兼ね分団対抗ソフトボール大会を行ない、代表に第五分団と第四分団が、八月二十八日湯浦運動公園で実施される大会に出場することになりました。

また、平国婦人分団と本部チームが対戦しての大会に花を添えてくれました。成績は次のとおり。

優勝　第五分団　準優勝　第四分団

自衛官への道
―新入隊員の近況―

今春三月、水俣工業高校を卒業した松本法男君(福浜亞国出身)は、若者の職場として自衛官への道を選び四月三日、長崎県相浦町に駐屯する第一二八教育大隊に入隊、以来約三ヶ月の前期教育を去る六月二十一日に修了、この間、訓練等に不撓不屈の津奈木精神を発揮し、特に気力、体力の充実はいちじるしく、教育修了式では教育中隊の隊長から、表彰を受け名誉ある輝かしい成績を収められました。

「松本君、受賞の感想を一言」

「男は負けん気と頑張りや、これからも立派な自衛官になるよう努力し、お世話に成った町の人達や親を大切にしてゆきたい」

修了式に列された鍋谷広報官に力強い言葉を残し、後期教育のため、第八特連隊(北熊本)へと、巣立って行かれました。

交通事故防止運動始まる

七月二十一日から八月二十日まで、夏の交通事故防止運動が次の運動を重点的に行なわれます。

一、夏休みのこどもの交通事故防止
二、暴走行為、過労、飲酒等無謀運転の防止
三、シートベルト、ヘルメット着用の推進

町民全員のこの運動に対する御協力を賜わり、本町から一件の事故もないよう御願い致します。

農業共済だより

今年も生産調整のきびしいなか気象異変で、この夏は「北冷西暑」といわれ、しかも秋の訪れは早く今後の気象推移と水田管理にますます注意が必要です。

つきましては、水田再編対策、圃地整備などの理由で六月引受けの時点において変更のあった農家は八月三十日迄、部落評価員又は農林水産課共済窓口に連絡下さい。

年金証書の収集

八月十一日より老令福祉年金と障害福祉年金の支払が郵便局で行われます。

十一日(木曜日)十二日(金曜日)の両日役場の係が年金証書の収集に郵便局に参りますので、よろしくお願いします。

十一日、十二日以外の日に受給された方は、年金証書を役場年金係まで提出して下さい。

尚、証書の提出を怠りますと次の年金の受給が出来ませんので念のため申し添えます。

お知らせ

今日から夏休み
7/21

児童巡回相談

つきのとおり実施されますので御利用ください。

記

一、日時　昭和五十八年八月十六日
　　午前下時～三時三十分
　　場所　背北町社会教育センター
二、日時　昭和五十八年八月十七日
　　午前九時～三時
　　場所　水俣市総合福祉会館(旧水俣消防署跡)
三、相談内容
　(イ)精神及び身体に障害のある児童
　(ロ)虚弱児
　(ハ)性格や行動に問題のある児童
　(ニ)その他子供に関するすべての相談

行旅死亡人

熊本県福祉生活部長から、次のとおり行旅死亡人を取り扱った旨の報告がありましたので、心あたりのむきは、直接取扱者あて照会されるようお知らせいたします。

記

1. 本籍及び住所　不詳
2. 氏名・生年月日及び性別
　氏名不詳
　性別　男性
　年令　四十五歳～六十歳
3. 人相・着衣及び特徴
　上前歯四本折損　面長、身長一六四㎝、五分刈、うす茶作業服、グレーズボン、ピンク色のカッターシャツ着用、黒革短靴
4. 死亡又は発見の日時場所
　昭和五十八年六月十六日午後十時ごろ
　菊池郡大津町大字引水七八六番地
5. 死亡の状況
　縊死
6. 処置
　火葬後浄正寺に安置
7. 遺留金品
　折畳み傘、ハンカチ、デジタル時計、革靴、テッシュペーパー、罐ジュース二本
8. 現金二十円
　取扱者
　菊池郡大津町大字一二三三
　大津町長　西岡勝任

募集

東京消防庁消防官(大学卒・短大卒)

この試験は、東京都の消防業務に従事する東京消防庁消防官の採用試験です。

(1)試験日及び場所
　第一次試験　昭和五十八年十月五日
　第二次試験　昭和五十八年一月八日
(2)受験資格
　昭和二十九年四月二日以降に生まれた男子
(3)受験手続
　受験申込書が役場防災係にありますので、受験希望の方がおられましたら取りに来て下さい。
　なお、申込入所日は昭和五十八年九月七日(水)から昭和五十八年九月十二日(月)まで

警察官(高校卒)

昭和五十八年度の熊本県及び十二都府県の警察官(高卒程度)の採用試験が行なわれます。

1.受付期間
　昭和五十八年九月一日から昭和五十八年　月二十日(火)まで
2.試験地及び期日
　第一次　熊本市　八代市
　　試験日　十月三十日
　第二次　熊本市
　　試験日　十一月二十八日・二十九日
3.受験資格
　昭和三十一年四月二日から昭和四十一年四月一日までに生まれた男子。
　受験申込については、水俣警察署警務係(電話〇九六六六・三・二一七一)へお尋ね下さい。

熊本県職員(高校卒)

昭和五十八年度の熊本県職員(警察事務・交通巡視員)採用試験次のとおり行なわれます。

1.受付期間
　昭和五十八年九月一日(木)から昭和五十八年九月二十日(火)まで
2.試験地及び期日
　第一次　熊本市　八代市
　　試験日　十月十六日
　第二次　熊本市
　　試験日　十一月十七日
　　十八日
3.受験資格
　昭和三十五年四月二日から昭和四十一年四月一日までに生まれた男子。
　受験申込については、熊本県人事委員会事務局(〇九六三・一一一四)(二九三)へお尋ね下さい。

お安くなりました 遠距離通話
――水俣電報電話局――

昭和58年7月21日から下記のとおり遠距離通話が大巾に値下げいたしました。

(3分間のダイヤル通話料)

距離	昼間(8時～19時) 旧料金	昼間(8時～19時) 新料金	夜間(6時～8時 19時～21時) 旧料金	夜間(6時～8時 19時～21時) 新料金	深夜(21時～6時) 旧料金	深夜(21時～6時) 新料金
320キロメートル超を500キロまで	450円		260円		220円	
500キロメートルを超え750キロまで	520円	400円	300円	240円	230円	220円
750キロメートル超地域	600円		360円		240円	

「車に乗ったら、まずベルト」
――シートベルト着用推進――

衝突事故が起きたとしても、「ハンドルをしっかり握って、腕や脚で身体をしっかり支えていれば生命は守れる」と思い違いをしている人はいませんか。

車が衝突したときの衝撃は、信じられない程大きいのです。実施によると、時速六〇キロで走行している車が固定壁に衝突すると、その衝撃は、なんと十四メートルの高さ(ビルの五階程度の高さ)から落ちたときに受ける衝撃に等しいと言われ、速度が増せば増すほど衝撃はきくなります。

また体重六十キログラムのドライバーが時速一十キロの速度で車を運転し、固定壁にぶつかったとした場合、その時受ける衝撃は、体重の六倍以上に相当する重量の物がぶつかってきたのと同じ力が働くと言われます。

ところが、人間が通常の状態で身体で支えられる力は腕で五十キログラム脚で百キログラムが限度だといわれていますから、走行中衝突事故に遭った場合には、到底自分の腕や脚だけで自分の命を守りきれるものでないことがおわかりいただけると思います。

シートベルトを着けることによって

◎車の衝突事故等によって、フロントガラスや車内の突起物によると、時速六〇キロで走行しても、衝突時の衝撃によって生じる車外放出を防止できる。など自分の生命を守る最も簡単な方法です。

シートベルトは、面倒だから、窮屈だから、煩しいから、すぐそこまでだから等と理由をいって着けていない人が多いようです。

町内で、車通勤者の多い事務所八ケ所について、月一～二回、抜きうち調査を行っています。役場津奈木中、津奈木小、赤崎小、平国小、津南保育園、津奈木保育園では、百パーセント着用が実行されています。自動車に乗れば「まずシートベルト」と習慣になるよう、家族のどなたかが「お父さん、シートベルト」と一声かけるようにしてください。そして又周囲のドライバーにもシートベルト着用を積極的に勧めるようにしてください。

ご芳志お礼

部落　世帯主　故人
竹中　津田　一馬　津田　ツエ
古中尾　永里　馨　永里ハツネ
小津奈木　岡本ユキ　岡本喜代太
水俣市　川路幸一郎　川路奈都美
平国下　福村　崇子　福村　安則
古川　船場満洲生　船場　ニキ
大泊　栁迫シズコ　栁迫　肇
内野　坂口　幸人　坂口　サヨ
小津奈木　永田サエ　永田　肇

右のかたがたから町社会福祉協議会へ善処としてご金一封をご寄付くださいました。この寄付金は、ご意志に添い有効に利用させていただきますとともに、故人のご冥福をじかからお祈り申し上げます

(敬称略)

・・・さん、ありがとう
ピアノご寄贈

七月九日、六車町長に或る町内の方から「中古の電子ピアノ一台を町で使って戴けないでしょうか」と御寄附の申し出がありました。町では、津奈木保育園から「オルガンかピアノを早く購入してください」と要請が出されている時でありましたので、御好意を有難くお受けすることに致しまして、早速ピアノを拝見致しました所、中古とはいえ全く新品同様の立派なピアノでありまして、保育園の保母も園児も大変な喜び様であります。

御寄附の申し出をされた本町在住の篤志家は強く「匿名」を希望しておられますので心ならずも御名前伏せたまま、誌上を借りまして心より感謝申し上げます。

〝ピカピカのピアノで楽しいおけいこ〟

七月十一日総務課から、ピカピカのピアノを保育園に持って来られました。〝ビックリ〟して「どうしたんですか」とたづねますと「ある人から、使ってください」と御寄附戴いたので持って来ました」との事でした。

保育園では「ピアノ」がはいしなあーと思っていた時、保母も園児も飛び上って喜びました。

これから、このピカピカのピアノを使って歌や遊戯のおけいこができ、毎日を楽しく過すことができます。

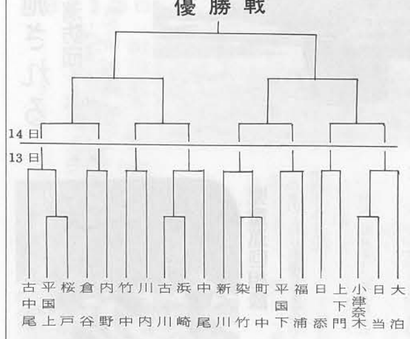
お聞きますと御寄附をされた方は名前を出さない様にとの事だそうですが、ほんとうにありがとうございました。

津奈木保育園　職員一同
　　園児一同

町民体育祭野球大会 組合わせ（第37回）

日時：昭和58年8月13日・14日 午前8時00分開会式
場所：津奈木町総合グラウンド（A・Cコート）2面
主催：津奈木町・津奈木町体育協会・津奈木町公民館

優勝戦



町民体育祭競舟大会 組合わせ（第18回）

日時：昭和58年8月15日
午前9時30分開会式
午前10時00分競技開始
場所：大泊港
主催：B&G財団津奈木海洋センター
津奈木町
津奈木町体育協会
津奈木町公民館

レース組合わせ

順	1コース（白）	2コース（青）	3コース（赤）
1	内野	大泊	新川
2	川内	町中	浜崎
3	平国上	平国下	古中尾
4	染竹	上下門	中尾
5	日当	桜戸	倉谷
6	大泊	日添	竹中
7	町中	古川	内野
8	平国下	小津奈木	川内
9	上下門	福浦	平国上
10	桜戸	新川	染竹
11	日添	浜崎	日当
12	古川	古中尾	大泊
13	小津奈木	中尾	町中
14	福浦	倉谷	平国下
15	新川	竹中	上下門
16	浜崎	内野	桜戸
17	古中尾	川内	日添
18	中尾	平国上	古川
19	倉谷	染竹	小津奈木
20	竹中	日当	福浦

練習日程

日	はやふさ	さきがけ	たかき	じはとつばめ
8/1	内野	川内	染竹	町中
2	古川	小津奈木	新川	浜崎
3	倉谷	竹中	内野	川内
4	上下門	桜戸	古川	小津奈木
5	古中尾	中尾	倉谷	竹中
6	染竹	町中	上下門	桜戸
7	新川	浜崎	古中尾	中尾
8	内野	川内	染竹	町中
9	古川	小津奈木	新川	浜崎
10	倉谷	竹中		

下記は各部落へ1隻
赤崎　ちどり（日当、日添）
平国　ひばり（平国上、平国下、福浦）
大泊　かもめ（大泊）

夏の祭典
競舟／野球大会組み合わせ決定
昭和五十八年度町民体育祭

キラメク夏 海水浴はミツ島へ

本格的な海のシーズンを迎え、三ツ島海水浴場の海開きが、去る七月十一日行なわれ、関係者二十人が出席、六車町長らが玉ぐしをささげ、シーズン中の安全を祈願した。

今年も、町が商工会へ管理を委託、昨年にもまして施設も充実「皆様へのサービスを」とはりきっている。

海開きで安全を祈願する町長

この海水浴場は八代海に浮かぶ三ツ島を正面に眺める景勝地で、年々、人工の海水浴場が増加している中、自然の海水浴場として、訪れる人が後をたたない。

澄んだ海、自然の砂浜で泳ぐのも夏の特権。

グループ、友達、家族づれなど連れ添って是非、この夏の想い出を三ツ島で―。

詳しい問い合せは
津奈木町商工会
（電話二五八〇）へ

結核と肺がん

保健婦 五嶋 睦子

七月十八日から二十二日まで行われた住民検診レントゲン撮影を受けましたか？

かつては亡国病としておそれられた結核も、最近はめっきりへりました。しかし、だからといって安心はできません。今なお年間約六万五千人が発病し、化学療法という強力な武器があるにもかかわらず、昭和五十六年の死亡数は約六千人、死因としては第十五位を占ています。結核になっても、症状は軽いのがふつうです。軽い咳や白く粘ってい痰が少しでる程度で、時に血痰もあります。従って結核を早くみつけるには、咳や痰が一カ月以上も続いている時、痰にわずかでも血の交る等の症状があった時は、すぐ病院にゆくことです。そして今く元気な方でも年一回の検診をおっくうがらずに受けることが必要です。

結核とは逆に年々増えているのが肺がんです。肺がんの症状の特徴はできる部位によって異なります。太い気管支のがんは比較的早く咳や血痰等の症状があらわれますが、肺の深い所にできたものはほとんど症状がありません。肺がんにかかりやすい人は、なんといっても〝タバコのみ〟です。喫煙本数と肺がんの関係の目安として喫煙指数という言葉を使います。喫煙指数とは、一日の喫煙本数に喫煙年数をかけたものです。たとえば一日二十本、二十年吸い続けた人は20×20＝400というぐあいです。

喫煙指数
400以下 ― 比較的安全
400～600以上 ― 要注意
600～800以上 ― 危険
800以上 ― きわめて危険

年齢的には四十歳代に入ると危険期にあります。あなたは大丈夫ですか。レントゲン撮影をうけてない方は、九月にもう一度あるのですので、是非受けて下さい。

昭和58年度 日赤募金

部落名	件数	金額	部落名	件数	金額
竹中	66	24,000	上下門	60	44,400
染竹	80	29,600	川内	36	17,100
浜崎	97	36,800	福浦	65	30,700
桜戸	75	34,300	平国上	64	26,200
町中	49	32,700	平国下	116	48,500
新川	77	37,100	日当	123	49,000
古川	71	30,200	日添	127	50,900
大泊	111	44,350	小津奈木	82	40,700
中尾	75	26,000	辻	9	4,600
古中尾	62	23,500	小計	1,564	676,550
倉谷	69	26,000	農協・漁協	2	15,000
内野	50	19,900	合計	1,566	691,550

町民各位の乙理解と乙協力によりまして本年度も目標額を達成することができましたことをお礼申しあげます。

本年初盆を迎えられる物故者に謹んで哀悼の意を表します

（注：昨年度町報掲載分以後に死亡された方ですので、昨年初盆を済ませた家庭もあります。）

（昭和57年8月1日～昭和58年7月）

番号	部落	死亡者	死亡年月日	届出人氏名	番号	部落	死亡者	死亡年月日	届出人氏名	番号	部落	死亡者	死亡年月日	届出人氏名
1	竹中	津田三代次	57. 8. 1	津田一馬	25	古中尾	黒田フジエ	57.12.28	黒田祐吉	49	平国下	濱田フクエ	58. 4.20	濱田一雄
2	平国上	濱田マセ	8. 6	濱田大一	26	大泊	柳迫榮蔵	12.31	柳迫マサコ	50	川内	平松リエ	4.21	萩原正雪
3	浜崎	前坂貞光	9. 8	前坂ミエ子	27	日添	津々木スナ	58. 1. 5	鶴田スヤ子	51	浜崎	前坂ヨシエ	4.22	前坂マキ
4	桜戸	浦口明義	9.12	浦口明	28	新川	口石トミ	1. 7	川崎秀人	52	桜戸	林サネ	5.16	林益雄
5	染竹	福山留義	9.14	福山ハツコ	29	古中尾	川崎キクオ	1.14	川崎通泰	53	平国下	松本安熊	5.18	松本泰正
6	大泊	新立勉	10.14	新立利己	30	古中尾	福永勝行	1.23	福永マサエ	54	倉谷	林ハルエ	5.26	林賢二
7	平国下	松本ミジュ	10.16	千々岩澄	31	〃	黒田玄吾	2. 8	黒田祐吉	55	平国上	平野正義	5.27	平野康男
8	日当	千々岩正勝	10.23	千々岩剛	32	上下門	門崎初義	2. 9	門崎タカ	56	福浦	福田弥三次	6. 6	福田増雄
9	大泊	柳迫喜禮	10.29	柳迫美喜男	33	小津奈木	永松ネヲ	2.17	永松真人	57	日当	上村由次	6. 8	上村由次
10	福浦	松崎ユキモ	10.30	松崎榮	34	竹中	高塚スエ	2.24	高塚明利	58	〃	伊藤光規	6.13	伊藤サモ
11	浜崎	林田龍二	11. 4	林田時義	35	日添	林田安任	2.27	林田千秋	59	日添	林田巌	6.17	林田スエヲ
12	日当	岩崎範男	11.11	岩崎範男	36	平国上	濱田セツ	3. 3	濱田大一	60	平国下	福村安則	6.19	福村崇子
13	福浦	福山シズモ	11.12	福山茂	37	倉谷	谷村行唯	3. 3	谷村行雄	61	日当	岩崎キク	6.21	岩崎一行
14	〃	福田ツタ	11.18	福田惠彦	38	内桜	福田ユキヲ	3. 4	福田ミツ子	62	古中尾	永里ハツネ	6.26	永里巌
15	新川	川崎清人	11.23	川崎清滿	39	桜戸	松本知義	3.13	松本健次郎	63	竹中	津田ツエ	6.27	津田ツエ
16	平国下	佐々木善四郎	11.24	佐々木定	40	内野	豊田辰喜	3.27	豊田正喜	64	小津奈木	岡本喜代太	6.28	岡本ユキ
17	中尾	馬乗園善明	12. 5	馬乗園ナチ子	41	大日	斉藤タメ	3.29	斉藤精志郎	65	古川	船場ニキ	6.30	船場満洲男
18	上下門	福田トミ	12. 9	福田勉	42	日当	上村英子	4. 1	上村俊治	66	水俣市	川路奈都美	6.	川路幸一郎
19	大泊	柳迫榮次	12.12	柳迫サダ子	43	日中	財部正人	4. 4	財部惠美子	67	大泊	柳迫肇	7. 3	柳迫シズコ
20	浜崎	林タモ	12.17	林生也	44	大倉	柳迫末熊	4. 4	柳迫吉雄	68	内野	坂口サヨ	7. 7	坂口幸人
21	〃	白坂モノ	12.19	林貞夫	45	倉谷	林イト	4. 4	林賢二	69	小津奈木	永田ツエ	7.23	永田サヲ
22	日添	林田キノク	12.24	林田ハツエ	46	町中	中村サエ子	4. 6	中村サエ子	70	竹中	北山ハツエ	7.30	山崎桂子
23	日当	伊藤ヨネテ	12.26	伊藤正任	47	平国下	吉野タマズル	4.15	吉野タマズル					
24	桜戸	西川ソ	12.27	西川一清	48	福浦	福山義人	4.19	福山秀人					

十年ぶり 役場の行政機構改革
一課三係減らす

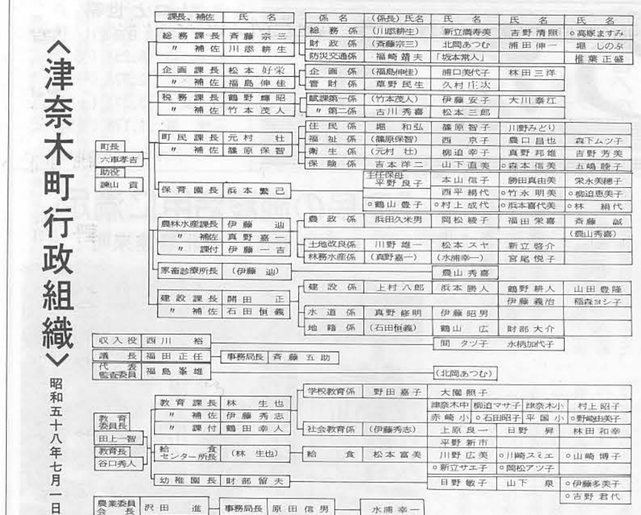
さる、六月十五日の六月定例町議会で、課設置条例改正案が可決され、七月一日付をもって、一課三係が減られた。

改革の要点は①町民、保健の両課の統合②土地改良係と農政係の統合、国民年金と道路維持を福祉、建設係に統合する。

また、企画の地籍係と保健の水道係を建設課、総務の管財係を企画課、建設の土地改良係を農林水産課に、それぞれ再編成し、課に配する係を機能しやすくしようというねらいを含んでいる。更に事務分掌についても見直しを行った。

今回の行革にあたっては昨年九月、役場内に機構改革準備委員会を設置して他町の資料集めから作業を始めた。本格的改革事務に入ったのは今年二月で、全職員の意向調査によって一応の改革点を見いだした。これを基に五回にわたって検討して改革案をまとめ、更に改革案を役場内に掲示して、再三の討議の上、今回の最終案になったものである。

〈津奈木町行政組織〉
昭和五十八年七月一日現在



▲役場新庁舎建設現場より、基礎杭打ち（7月21日写）

〔課の分掌事務〕
七月一日付

○町民課
(一)戸籍及び住民登録 (二)年金 (三)窓口事務 (四)社会福祉 (五)社会保障 (六)保健衛生 (七)国民健康保険 (八)老人保健
○農林水産課
(一)農業・林業及び水産業 (二)土地改良 (三)農業共済 (四)農地
○建設課
(一)道路及び河川 (二)住宅及び建築 (三)その他土木一般 (四)水道 (五)地籍調査 (六)港 (七)林道
○総務課
(一)職員の進退及び身分 (二)議会及び町行政一般 (三)財政 (四)防災交通 (五)他課の主管に属しない事項
○企画課
(一)町計画の企画及び調整 (二)統計 (三)財産 (四)商工業及び観光 (五)特命事項
○税務課
(一)町税 (二)国民健康保険税

町人事異動
七月一日付（）は前職

〔課長級〕
▽企画課長（保健課長）松本好栄
▽農林水産課（建設課）伊藤 迪
▽建設課（農林水産課）開田 正
▽教育課（企画課）林 生也
▽教育課長（町民課長補佐、主幹）斉藤五助

〔課長補佐級〕
▽農業委員会事務局長（保健係長）原田信男▽総務課長補佐兼総務係長事務取扱（議会事務局長）川添（一般職）柳迫幸子
▽総、主事（農、主事）堀じのぶ
▽収入役室（総）永柄加代子
▽企画（建）久村庄次▽税（税）（町）大川泰江▽町民（税）山下直美▽町民（収入役室）川野みどり▽保、保健婦（町、保健係）草野民子▽建、参事（農業耕人▽町、参事（町）維持）浜本勝人▽町、参事（町）年金）西京子▽建、参事（農業委員会）鶴野耕人▽町、参事（保）（保）真野邦雄▽町、参事（保）（保）堀和弘▽町、保険（保）・保険（保）吉本洋二▽農、農政（農）良）（農、参事）川野雄一▽建、経済（農）浜田久米男▽農、土地改良（農）三ツ島海浜（農）真野修明▽農業委員会兼農、参事（農）綾子▽農、参事（農）水産（農）水浦幸一▽農、参事（農）農政（農）岡松子▽建、参事（農）水道（保、水道）真野修明▽農、参事（農）林務（農）浜本勝人▽町、参事（町）（保）草野民子▽建、参事（農業）（保）（保）西京子▽建、参事（農業）（保）（保）鶴野耕人▽町、参事（保）（保）（保）浜本勝人▽町、参事（町）（保